

## 企業会計基準委員会とカナダ会計基準審議会の代表者によるビデオ会議の開催

企業会計基準委員会  
カナダ会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）とカナダ会計基準審議会（Accounting Standards Board; AcSB）の代表者は、2022年1月25日に、ビデオ会議を開催しました。この会合は、ASBJとAcSBとの間での3回目の二者間の会議となります。

今回の会合では、ASBJとAcSBの代表者は、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目である「金融商品」及び「開示に関する取組み」並びに利害関係者の関心を含む市場環境の変化への対応等について議論を行いました。

ASBJとAcSBは、引き続き、意見交換を続けていく予定です。

川西安喜 ASBJ副委員長は次のように述べています。

「対面形式で開催できなかったことは残念であるが、今回もAcSBと建設的な議論を行うことができた。それぞれの法域において、IFRS基準と米国会計基準の両方が利用されており、両ボードは国際的な会計基準のグローバルな比較可能性が重要であるという中核的な価値を共有している。AcSBとの協議は常に洞察力に満ちたものであり、今後もこのような対話の継続を望んでいる。」

リンダ・メゾン-ハッター AcSB議長は次のように述べています。

「ASBJのような各国の会計基準設定主体との間で、パンデミックが続いているにもかかわらず、ビデオ会議の形式でありながら生産的なコラボレーションの機会が得られたことに引き続き感謝している。我々は、財務報告の国際的な比較可能性を支援するための現在の取組み及び共通の目標について議論することができ、また、今後数年間の我々の目標を示したAcSBの2022年から2027年の戦略的計画案について詳細を話し合うことができた。次回の会合は、対面形式で開催できることを楽しみにしている。」

## 企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページ <https://www.asb.or.jp/jp/> をご参照いただきたい。

## カナダ会計基準審議会（AcSB）について

AcSBは、パブリック・セクターを除くすべてのカナダ企業が用いる会計基準を設定する権限を有する独立の機関である。AcSBは、すべての民間のカナダ企業の財務報告のための基準を設定することを通じて、また、国際的に認められた財務報告基準の開発に貢献することを通じて、公共の利益に貢献している。

AcSBは、独立の機関として、財務諸表利用者が十分に情報を得て経済的意思決定を行うことを支援するために、カナダ会計基準を開発・維持している。その開発・維持は民間のカナダ企業が報告する財務業績に関する高品質の情報を提供する基礎となるフレームワークを維持することを通じて行われている。会計基準は、取引その他の事象について、財務諸表においてどのように認識、測定し、表示し、開示すべきかを定めている。

AcSBに関する詳細な情報は、ウェブサイト [www.frascanada.ca/acsb](http://www.frascanada.ca/acsb) をご参照いただきたい。